

徳島県立文学書道館 文学特別展

# 万葉集

いにしえの心をたずねて

2014年

12月20日(土)

2015年 2月8日(日)

会場 1階 特別展示室・ギャラリー 3階 収蔵展示室

開館時間 午前9時30分～午後5時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日～1月5日)

観覧料 (常設展もご覧いただけます)

一般510円(400円)、高校・大学生350円(280円)、小・中学生250円(200円)

\* ( )内は20名以上の団体割引料金。小・中・高校生は、土・日・祝日・長期休業中は無料です。高齢者(65歳以上)と各障害者手帳をお持ちの方は半額です。



入江正巳画「万葉悲歌」(奈良県立万葉文化館蔵)

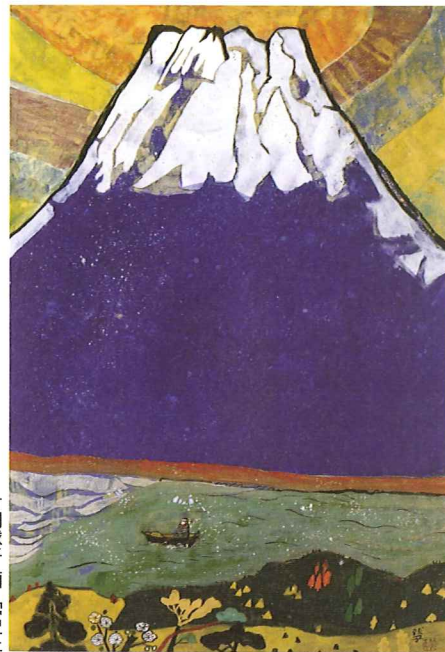


石川義画「祈り」(奈良県立万葉文化館蔵)

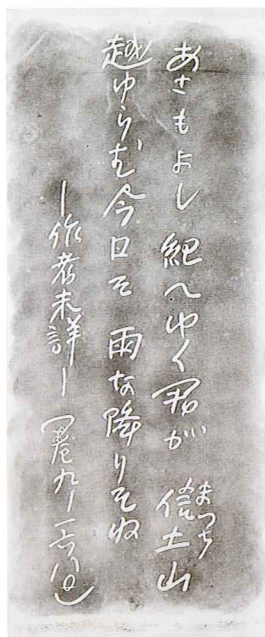


我が国最古の歌集「万葉集」には、ふるさとの山河や季節の花々、天地のめぐりに想いを託し、また恋慕や惜別の情を直截に詠んだ万葉びとの息吹が感じられます。今や日本列島の開発が進み、生活は便利になりましたが、その一方で地方は都市化、画一化され、われわれの祖先が慈しみ育ててきた特色のある風景や風習、季節感が薄れつつあるように思えます。それと同時にふるさとの風土を拠り所として培われた深々とした心の豊かさも失われつつある昨今、「万葉集」が伝えるいにしえ人の心や生命の躍動は、よりいっそう輝きを放っているのではないのでしょうか。

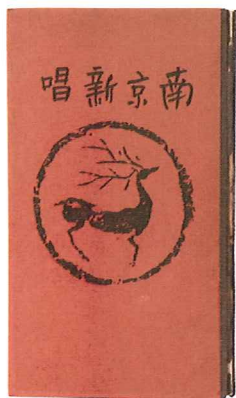
本展では、日本人の心の源郷をたずね、万葉の名歌とそれをこよなく愛した文人たちの文章、万葉歌をモチーフとした日本画を通して万葉集の世界を紹介します。またギャラリーでは大伴家持をめぐる女性たちの恋歌を造形展示します。1300年の時空を超えて、歌に込められた万葉びとの息吹を体感し、万葉の世界に遊んでいただければ幸いです。



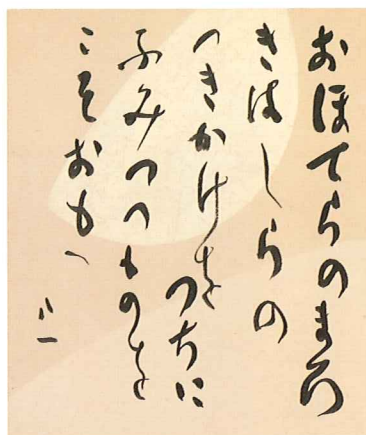
1 片岡球子画「富士」



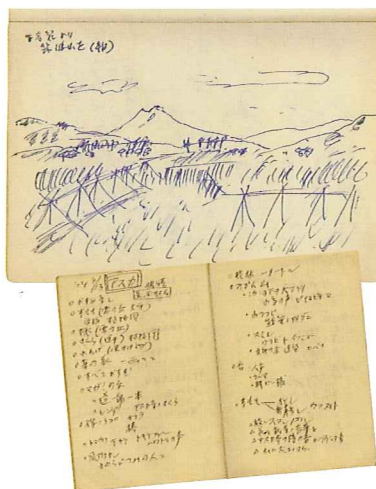
4 犬養孝揮毫「紀ノ川の万葉」 歌碑拓本



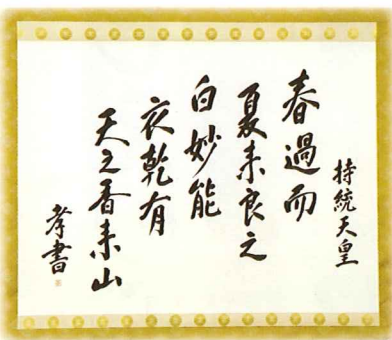
3 會津八一 歌集「南京新唱」



2 會津八一 色紙



6 犬養孝 取材ノート・スケッチ



5 犬養孝 直筆掛軸

関連事業

展示解説「五感で味わう万葉の恋歌」

2014年12月20日(土) 10:30~11:30  
岩本圭司(造形作家・大岡信ことば館館長)

テーマ朗読会「犬養孝『万葉十二ヶ月』を読む」

2015年1月11日(日) 13:30~14:40

展示解説「万葉の時代をたずねる」

2015年1月18日(日) 14:00~15:00

講演会「万葉の歌にみる心・信仰・自然」

2015年1月25日(日) 14:00~15:30

寺川真知夫(同志社女子大学名誉教授)

1. 奈良県立万葉文化館蔵
2. 3. 新潟市會津八一記念館蔵
4. 5. 6. 犬養万葉記念館蔵



●交通アクセス

【JR徳島駅から】

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜け右折します。JR高徳線の踏切と助任川を渡り、3つ目の信号交差点を右折し約300m。

バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車し、「吉野本町2丁目」で下車。徒歩で約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を渡り4つ目の信号を右折し約300m。当館北側に駐車場があります。

- \* 講演会は申し込みが必要です。往復ハガキに、「万葉集展講演会希望」・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入の上、郵送してください。当館1階受付でも申し込みます。
- \* 展示解説の申し込みは不要ですが観覧券が必要です。

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

☎ 088-625-7485 FAX 088-625-7540

http://www.bungakushodo.jp